答え 8月6日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



雨水の日にちなんで「雨のクイズ」

【第1問】「五月雨を あつめて早し 最上川」。よんだのはだれ？

① 小林一茶　② 正岡子規　**③ 松尾芭蕉**

芭蕉が「おくのほそ道」の旅でよんだ句です。最上川（もがみがわ）は山形県を流れる川で、日本三大急流の一つといわれます。

【第2問】「五月雨（さみだれ）」とは、今でいうどんな雨？

① 梅雨の長雨　② 夕立　③ 秋の長雨

昔のこよみの5月は、今の6月ごろにあたります。そのため五月雨は、梅雨の時期に降りつづく雨のことです。

【第3問】「梅雨（つゆ）」ということばは、どこの国から伝わった？

① 韓国　**② 中国**　③ インド

中国から伝わったことばといわれます。梅の実が熟すころに降る雨なので「梅雨」と書く、という説があります。

【第4問】ふつう、梅雨がないといわれるのはどこでしょう？

① 沖縄県　**② 北海道**　③ 鹿児島県

梅雨前線は、北海道のあたりまで来るころには弱まってしまいます。そのため、北海道にははっきりした梅雨がないといわれます。

【第5問】東京の両国国技館では、屋根に降った雨水を何に使っている？

① トイレの水　② 飲み水　③ お風呂

大屋根に降った雨を地下のタンクにためて、トイレを流す水などに使っています。雨水の日を決めた墨田区は、雨水を生かす町づくりに取り組んでいます。

【第6問】「狐（きつね）の嫁入り」とは、どんな天気？

① 大雨　② 雪まじりの雨　**③ 晴れているのに降る雨**

日が照っているのに、ぱらぱら降る雨のことです。天気雨（てんきあめ）ともいいます。きつねにだまされたような、ふしぎな天気だからといわれます。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

まいにち元気道場 監修 作業療法士 石田竜生
© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます